

中山観光自動車株式会社
NAKAYAMA KANKO

季節のおはなし・旅便り

風薫る季節となりました。



5月は新緑が美しく、温かな日差しが心地よい季節です。

大型連休をはじめ、家族や友人との時間を大切にするイベントが満載ですよね。

また、自然を楽しむ絶好のチャンス…

5月の景色は話題性も抜群で、一見の価値あり！です。

休日に何をしようかな？と悩んでいる方は、

花や新緑、こいのぼりなど、季節感をたっぷり味わえるこの時期に
ぜひ絶景を求めて出かけてみてくださいね





立春から数えて 88 日目が「八十八夜」

茶摘みの歌にもあるように、昔はこの頃を春と夏の境目として、新茶を摘んだり種まきをしたりする農業の目安ともしていました。

八十八は組み合わせると「米」という字になることや、未広がりの「八」が重なることから、豊作や長寿を願う大切な日としてお祝いされていました

5月2日あたりになるのが一般的だが 2025年の八十八夜は5月1日



伝統的なお祭りも目白押し！

東大寺の聖武祭りから始まり、200万人の観客数を超える博多どんたく江戸三大祭りに数えられる神田明神祭・京都三大祭りの葵祭

島根の出雲大社祭 浅草の三社祭りなど行事は満載です。

5月は新緑まぶしいお祭りの季節であります。

博多どんたく 福岡県福岡市で毎年5月3日と5月4日に開催される祭り
「ドンタク」はオランダ語で「日曜日」「休日」を意味する「ゾンターグ」に由来し、「博多どんたく」の「どんたく」の由来でもある言葉で、明治時代から使われている。
土曜日は半日が休みなので半分のドンタクで「半ドン」と呼ばれるようになった。

神田祭は京都の祇園祭、大阪の天神祭と並ぶ「日本三大祭」の一つ

江戸時代から続く伝統あるお祭り…5月8日(木)から5月15日(木)まで

約1週間にわたって開催され、中でも特に盛り上るのは5月10日(土)の「神幸祭」と11日(日)の「神輿宮入」です。神幸祭では早朝5時からの「御鑰交付儀式」で幕を開け、8時には神社を出発する行列が街を練り歩きます。夕方19時頃まで続くこの1日は、東京の街中が江戸時代にタイムスリップしたような雰囲気に包まれる

ようやく暑さも加わり、すがすがしい陽気に包まれる5月八十八夜を迎えると農作業が本格的に始まります。
田植えの準備が開始されるのもこの時期…

また、暖かくなったことで、山菜やキャベツ、さやえんどう、アスパラなど野菜が旬を迎えます。

でも爽快なのも束の間…5月も中旬を過ぎると本格的な梅雨入りを前に、西日本を中心にぐずついた天気が続きます。そんな天候をはしり梅雨といいます

また5月といえば「五月雨」「五月晴れ」という言葉もあり

五月雨は梅雨の別称、五月晴れは梅雨の合間の晴れ間を意味しています。

そして5月といえば…端午の節句

端午の端は初めという意味で午は五に通じ「端午」で五月初めの五日という意味になります…

月と日にちの重なる日を祝日とする習わしなどから、この日を端午の節句と定め、一大行事となりました。



博多どんたく

動員数は毎年 200 万人を越え



「天下祭」として知られる神田祭



去年の人出は 3 日間で 190 万人



葵祭

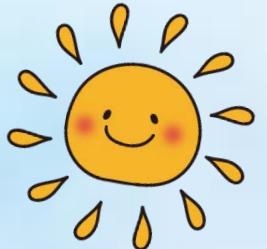
葵祭

2025年の三社祭は、5月16日～18日(日)の3日間で開催されることが決定。700年以上の歴史を持ち、100基以上の神輿が町を練り歩く

葵祭は、祇園祭、時代祭と並ぶ京都三大祭の一つに数えられ、5月15日開催
京都御所から下鴨神社・上賀茂神社へ新緑の都大路を、
総勢 500 名を超える平安絵巻
さながらの優雅な行列がねり歩きます。



双葉三つ葉の葉っぱ



5月のおすすめスポット

5月に楽しむ花の名所・フローラルイベント

桜の季節が終わっても、綺麗な花が咲くスポットはまだまだあります。

一面に広がるピンクや白の芝桜や、こぼれんばかりの満開の藤。真っ赤に彩られたつづじに可憐なポピーなど、5月に見頃の花がいっぱい。また中旬ごろからはメロンやびわなど…旬のフルーツ狩りも楽しめます。

新緑もまばゆいこの季節は気持ちよく屋外で過ごせる時間も増えてきて、おでかけ日和です。

5月は大型連休や母の日もあり、まさにおでかけにうってつけの季節です。

梅雨入り前のこの季節を楽しんでリフレッシュしてみては？



む文京区「鳩山会館」でバラやステンドグラス・建築を堪能！

第52～54代内閣総理大臣を務めた鳩山一郎氏により建てられた建築家・岡田信一郎氏により建設、大正ロマンの文化を感じられる建築がみどころです。中庭には90種類以上のバラが植えられ、5月は美しいバラを愛でに、多くの人が訪れます。



神奈川県横須賀市にある横須賀市くりはま花の国



5月初旬からは三浦半島最大級となる約1.8ヘクタールの「ポピー園」にてシャーレーポピーが見頃を迎える見込み。4月19日(土)～5月18日(日)には、ポピー園の上空に「こいのぼり」も登場

👉旧古河庭園「春のバラフェスティバル」

薔薇の名所として知られる旧古河庭園では、例年4月下旬から6月下旬にかけて春バラが見頃を迎える。約100種200株の華やかなバラが咲き誇る洋風庭園と重厚な洋館、風情ある日本庭園が楽しめます。

見頃に合わせて「春のバラフェスティバル」が開催芝生広場アプローチ部分ではローズガーデンマーケットが開かれ、バラグッズや花鉢などが販売



ご当地グルメの藤ソフト
藤の絶景で食べるスイーツ♥



ひたち海浜公園 ネモフィラ

👉ネモフィラと空と海とが織り成す青のハーモニー



手にしたら思わず写真に撮りたくなる
味も見た目も抜群の究極のソフトクリーム。
ネモフィラは爽やかなラムネ味。

メロン狩りやびわ狩りは
自社ツアーでも人気コース！
詳しくはホームページから
ツアーランをご覧ください



びわの一番食べごろは、5月から6月にかけて…南房総はびわの日本二大産地のひとつ。ここで収穫されるびわは「房州びわ」と呼ばれ、肉厚たっぷりな大粒の果実でみずみずしさが特徴！また「フォレストパークメロンの森」は茨城県内でも有名なメロン農園のひとつ。しっかりとした果肉の歯触りと甘さは、完熟採りならではの極旨！

👉樹齢160年を超える600畳敷きの藤棚を持つ大藤や、

長さ80mもの白藤のトンネル、
きばな藤など350本以上の藤が咲き誇ります。
日本で唯一「2014年世界の夢の旅行先10ヶ所」に選ばれました。



スポット！ 足尾銅山記念館が完成「観光スポットになれば」一般公開は8月から



足尾銅山観光 400年の歴史が息づく全長460mの坑内

400年の歴史を誇り、かつて「日本一の鉱都」と呼ばれ大いに栄えた足尾銅山の坑内観光施設です。閉山後に坑内の一部が開放され、トロッコ電車に乗って全長約460メートルの薄暗い坑道に入していくと、当時の辛く厳しい鉱石採掘の様子が年代ごとにリアルな人形で再現されています。鉱石から銅になるまでの過程などが展示されている銅資料館と、足字銭の鋳造過程が展示されている鋳銭座も併設されており、日本の近代化を支えた足尾銅山の歴史や役割を学ぶことができます。

日本初の公害事件「足尾鉱毒事件」とは

1880年代、足尾銅山から産出した鉱毒が渡良瀬川に流れ込み川の魚が死に、荒廃した山林は洪水を引き起こし下流にある田畠が収穫不能に陥るなど、甚大な被害をもたらした。

当時の衆院議員「田中正造」や農民らは銅山操業停止と救済を求めたが、政府はこれに応じなかった…

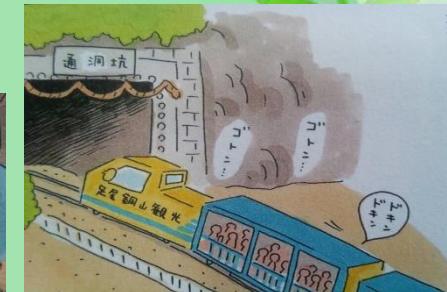
1901年(明治34年)衆議院議員を辞職して天皇に直訴するも阻止され失敗

その後、銅山は1980年代まで稼働し続け、

2011年に発生した東日本大震災では基準値を超える鉛が検出されるなど、現在でも鉱毒の影響が残っている。



かつて日本一の銅生産量を誇った足尾銅山の歴史をたどる足尾銅山記念館の完成式典が4月21日、栃木県日光市足尾町で開催。一般公開は8月8日からで予約制です。記念館は木造2階建てで、延べ床面積は1245平方メートル。足尾から発展した古河グループの創業150周年事業の一環で、明治・大正を代表する建築家「辰野金吾」が携わった「足尾鉱業所」を復元建設されたものです。グループ創業者の名を冠した一般社団法人・古河市兵衛記念センターが運営します。



足尾の発展を支えた「わたらせ渓谷鐵道(旧足尾鐵道)」

わたらせ渓谷鐵道 通称「わ鐵(わてつ)」と呼ばれ、群馬県桐生市と栃木県日光市足尾地区を結ぶ、第3セクター化されたローカル線です。足尾銅山の貨物輸送に使用されていましたが、閉山後は地域の公共交通機関であると共に、渓谷の自然を楽しむ観光鉄道へと変化して行きました。

これから季節は新緑が美しく窓ガラスのないオープンタイプのトロッコ列車がおすすめ。

さわやかな風を全身で感じながら渓谷の雄大な自然を満喫できるのは、窓がない開放的なトロッコ列車ならではの楽しみ方です。のんびり走るトロッコ列車に揺られながら、自然の織りなす美しい景色が楽しめます。



2025 大阪・関西万博

夢や希望に…現実も！各国パビリオン掲げる思い

万博って？

万博＝万国＋博覧会

(万国とは、さまざまな国のこと)

万博は、世界中のさまざまな国が参加する国際博覧会のことで、世界中が注目する大きなイベントです

55年ぶりに大阪で開幕

日本で初めての万博とは

日本で初めての万博は1970年に大阪で開催 3月15日～9月13日までの183日間 77の国と4つの国際機関が参加する万博。会場内には、116もの展示館が建てられ、国や団体ごとに工夫を凝らした展示が行われた。入場者数は約6400万人

科学技術の進歩を発信すると共に国際理解が深まりました

大阪・関西万博でどんな体験ができるの？

1. 世界最先端の技術を体験できる
2. 日本だけでなく、さまざまな世界の文化を体験できる
3. 世界各国のグルメを楽しめる
4. 社会課題が“自分ごと”になる体験ができる
5. 最先端の建築技術・デザインを楽しむ

未来につながる大阪関西万博を是非体験！

ほな、万博行きましょか



2025年大阪・関西万博開幕！

4月13日、ついに「2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)」が開幕しました！

「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、10月13日まで184日間の会期が始まりました。この日までなんだかんだで問題多しの関西万博でしたが、いざ正式に開催されるとやはり感動初日はあいにくの雨となりましたが、それでも約12万人が来場し、会場は熱気と期待に包まれ、大いに盛り上がりを見せっていました。

会場：夢洲(ゆめしま)(大阪市此花区)

テーマ：いのち輝く未来社会のデザイン

サブテーマ：いのちを救う

いのちに力を与える

いのちをつなぐ

コンセプト：未来社会の実験



毎日新聞より

公式キャラクター「ミヤクミヤク」について

細胞と水がひとつになったことで生まれた、ふしきな生き物。その正体は不明です。

赤い部分は「細胞」で、分かれたり、増えたりする。

青い部分は「清い水」で、流れる様に形を変えることができる。

なりたい自分を探して、いろんな形に姿を変えているようで、人間をまねた姿が、今の姿。

でも、姿を変えすぎて、元の形を忘れてしまうことがある。

外に出て、太陽の光をあびることが元気の源。

雨の日も大好きで、雨を体に取り込むことが出来る。

開幕前から自分のことを皆さんに知ってもらい、

開催された大阪・関西万博で多くの人に会えることを夢見ています。

出生地：関西のどこかにある小さな湧水地。

性格：人懐っこいが、おっちょこちょいでよくポカをする。

特技：色々な形に姿を変えられること、雨上がりに虹を見つけること。

好きなこと：あらゆる生き物や物事と触れ合うこと。

会場で待ってるよ



大阪・関西万博**ぴあ**より

大屋根リングが「最大の木造建築物」として、2025年3月4日にギネス世界記録に認定されました。

大屋根リングは、「多様でありながら、ひとつ」という会場デザインの理念を表す大阪・関西万博会場のシンボルとなる建築物です。

日本の神社仏閣などの建築に使用されてきた伝統的な貫(ぬき)接合に、現代の工法を加えて建築しています。

会場の主動線として円滑な交通空間であると同時に、雨風、日差し等を遮る快適な滞留空間として利用されます。

国内のパビリオンは日本の技術と魅力がいっぱい

日本国内の企業や団体が出展するパビリオンも、万博の大きな見どころ

「未来の暮らし」を体験できるかも？

パナソニック館やNTT館など、大手企業が出展するパビリオンでは、
AIやロボット技術、最新の通信技術などを活用した「未来の生活」が体験できる
「空飛ぶクルマ」がついに実現！？

万博の目玉の一つとして期待されているのが「空飛ぶクルマ」の実用化。

会場内の移動手段として、あるいは特定のパビリオンでの
デモンストレーションとして、実際に空飛ぶクルマを目撃できる可能性が！

日本の伝統文化×最新技術の融合？

日本の強みである伝統工芸や芸能と、最新のデジタル技術を組み合わせた、
新しい形の展示やパフォーマンスを行うパビリオンも登場するかも…？

例えば、プロジェクションマッピングと能楽のコラボとか…



4月13日に開幕した大阪・関西万博。
158の国と地域が参加し、
パビリオンの数は
なんと191の規模！
しかも敷地は東京ドームの
約33個分の広さ。

- ・建築面積(水平投影面積): 61,035.55 m²
- ・内径: 約 615m 外径: 約 675m
- ・全周: 約 2km
- ・幅: 30m
- ・高さ: 約 12m(外側約 20m)
- ※来場者が歩くことができるスカイウォークの高さ
- ・使用木材: 国産木材 7割(スギ、ヒノキ)
外国産木材 3割(オウシュウアカマツ)



海外パビリオンは世界とつながる！

世界中の国々が参加する万博ならではの楽しみが、海外パビリオン巡り！各国の文化や技術に触れられるチャンスです。

パビリオン建築自体がアート！

各国が威信をかけて建設するパビリオンは、その国の文化やテーマを表現した、独創的なデザインのものが多くあります。

建築デザインに注目して巡るだけでも、まるで世界中の美術館を訪れているような気分になれるかも！

意外な国で最新技術に驚く！？

普段あまり馴染みのない国のパビリオンで、実は最先端の環境技術やデジタル技術が紹介されている…

万博は、知らなかった国の魅力に気づかせてくれます

その国ならではの「食」も楽しめる？

パビリオンによっては、その国の料理を提供するレストランやカフェが併設されることもあります。

本場の味を気軽に楽しめるのは嬉しいですよね！ どこの国のグルメが人気になるか、楽しみです！

民族衣装や伝統芸能に触れられるかも？

パビリオン内での展示やイベントで、各国の美しい民族衣装を見たり、伝統的な音楽やダンスのパフォーマンスを
体験できたりするかもしれません。